

◦・自主研究「展開型」「スタートアップ型」公募のご案内・◦

交通工学会（以下、JSTE）では、公益事業の一環として自主研究を行っています。会員の皆様におかれましては、本制度の趣旨をご理解いただき、募集要項をご参照の上、積極的な応募をお願い申し上げます。

自主研究公募制度の趣旨

自主研究とは、JSTE が会員の協力のもとで「自主的」に取り組む研究です。自主研究テーマの公募制度は、学位取得したばかりの若手から経験豊富な研究者、実務者まで広く会員の参画を募ることで、JSTE における研究活動のさらなる活性化を図るものです。

自主研究を活用するメリットは次の 3 点が挙げられます。

①産学官の連携した研究体制構築のための支援を受けられる

経験豊富な JSTE 会員の研究者や実務者と研究の協力体制を組むことができます。

②研究成果の還元のための支援を受けられる

JSTE シンポジウムでの報告やセミナー、講習会の開催(Web 開催含む)、JSTE ホームページでの成果発信といった研究成果の還元の間が与えられます。また、活動成果、研究計画・内容に応じて、JSTE の判断で講習会やセミナー開催時の会場費、外部講師旅費等の経費の一部を補助します。

③事務局のサポートを受けられる

委員会などを編成して研究を行う際の、会議場所の貸与、開催案内といった支援を JSTE 事務局が行います。

(注) 科研費のような、いわゆる研究費配分を主目的とする研究助成制度ではありません。

自主研究公募は、「展開型」と「スタートアップ型」の 2 つに分類されています。ともに会員の皆様からの提案に基づき随時受け付け、研究委員会で採択可否が審議されます。

- 「展開型」は、重要な研究課題の展開を効果的にすすめることを目的とし、研究代表者が予め研究目標、計画、組織を固めて、研究活動を行うことを前提としたものです。
- 「スタートアップ型」は、新規性がある提案や、研究の意義・重要性・必要性の提起に評価の重点を置いた枠組みです。申請時に研究組織が整っていないくても、採択後、自主研究小委員会や JSTE の協力のもとで体制を整えることをサポートします。

「申請」にあたっては、「展開型」はできるだけ具体的な成果目標を設定してください。「スタートアップ型」は研究の意義や新規性が伝わる提案をお願いします。ともに、実務者が主導する研究も歓迎します。研究期間は原則 3 年を上限とします。

「採択」にあたっては、JSTE の目的に沿った研究であり、かつ交通工学分野の今後の発展に結びつく観点を重視します。採択後には、研究進捗報告、終了後に成果報告をしていただきます。

その他、応募にあたっては、『自主研究「展開型」「スタートアップ型」募集要項』と、『応募・提案様式』をご覧ください。皆様からの積極的なご提案をお待ちしております。

自主研究「展開型」「スタートアップ型」募集要項

1. 応募資格：申請代表者は、交通工学研究会(JSTE)の会員に限る
2. 研究予算：研究計画・内容、活動成果に応じて、JSTE の判断で講習会やセミナー開催時の会場費、外部講師旅費等の経費の一部を補助します。(研究費配分を主目的とした研究助成制度ではありません)
3. 研究期間：原則 3 年以内（終了時期は 3 月末とします。）
4. 応募方法：応募・提案様式に記入し、以下の宛先まで E-mail 添付で送付してください。
様式入手先：https://www.jste.or.jp/research_activities/self-research/purpose/
送付先：【E-mail】jisyukenkyu@jste.or.jp
宛先：一般社団法人 交通工学研究会 自主研究小委員会 宛て
5. 応募期限：随時募集します。研究を開始する月の 2 ヶ月前の月末までにご応募ください。たとえば、4 月 1 日から開始される場合には、その前年度の 1 月末までにご応募ください。
6. 審査・採択：応募内容にもとづいて研究委員会にて審議後、採否を決定します。
なお、「スタートアップ型」で「研究体制の構築」が必要な提案については、採択後、JSTE により、採択されたテーマに応じた相談役(研究者、実務者)を指名します。研究代表者との打ち合わせを通じて、メンバー人選や打診について、相談役から支援を受けられるようにします。
7. 研究報告と評価（状況により変更の可能性があります）
 - 1) 研究進捗報告
 - ア) JSTE 主催行事等での発表(1 年目は任意。2 年目以降は、以下の中から年 1 回を目安。)
 - ・研究発表会での発表やパネル展示、JSTE シンポジウムでの企画、交通工学論文集への投稿
 - ・その他研究課題に関する講習会、セミナーの開催等
 - イ) 年度途中(10 月頃)における簡便な取り組み状況の報告:これまでの取り組みと今後の予定について、メールにて報告いただきます。
 - ウ) 年度末における簡便な報告:当該年度の活動内容と次年度の活動計画をそれぞれ 300 字程度にまとめてメールで報告していただきます。
 - 2) 研究終了報告
 - ア) 最終年度の年度末における報告
 - 「研究の目的と意義(300 字以内)、研究概要(700 字以内)、想定した研究成果(目標)とその達成度(400 字以内)、公表実績、今後の展開」を電子媒体で提出していただきます。
 - イ) 研究成果の機関誌「交通工学」への終了報告掲載
 - 3 月の研究終了後、6 月末までに最大 8 ページの原稿を作成し電子媒体で提出して頂きます。提出された原稿は原則として 10 月号の機関誌「交通工学」に掲載いたします。
 - ウ) 研究発表会での成果報告
 - 交通工学研究発表会の全体セッション等にて、5～10 分程度で成果報告をご発表いただきます。
 - 3) 進捗確認・評価
 - 上記 1)にもとづき、自主研究小委員会にて随時、進捗状況を確認します。必要に応じて、各研究代表者に取り組み状況について問い合わせさせていただく場合があります。また、2)ア)にもとづき、自主研究小委員会により活動内容を総括・評価します。それに基づき、新たな研究提案を依頼することがあります。

【 問い合わせ先 】 一般社団法人 交通工学研究会 自主研究小委員会 担当 TEL03-6410-8717
E-mail: jisyukenkyu@jste.or.jp